

## 会合開催状況

(1991年9日～1992年1月)

開催日	会 合 名	開 催 地	出席者数
9/24	Shielding積分テストWG	東 京	10
9/25, 26	F P核データWG	東 海	4
9/27	評価用データベースWG	"	8
10/2	崩壊熱評価WG	東 京	7
10/3, 4	高エネルギー核データ専門家会議	東 海	50
10/8	理論計算コードWG	東 京	11
10/25	核融合核データWG	"	8
10/31	光核反応データWG	"	10
11/14	重核データ修正WG/ガンマ線生成データ修正WG	"	13
11/15	WRENDAグループ	東 海	8
11/15	Shielding積分テストWG	東 京	7
11/21, 22	F P核データWG(共鳴と積分テストグループ)	東 海	5
11/22	F P核データWG	"	8
11/28, 29	1991年核データ研究会	"	126
12/3	WRENDAグループ	"	9
12/10	理論計算コードWG	東 京	10
12/11	Shielding積分テストWG	"	6
12/12	ガンマ線生成データ修正WG	"	6
12/12	運営委員会	"	17
12/20	F P核データWG	東 海	8
12/25	Dosimetry積分テストWG	東 京	5
1/16	重核データ修正WG	"	8
1/17	核融合核データWG	"	7
1/17	核データニュース編集委員会	東 海	5

運営委員会(12月12日)の議事概要を次ページに示す。

3年度第4回運営委員会の議事概要を以下に示す。

日 時 1991年12月12日(木) 13:30 ~ 17:15

場 所 日本原子力研究所 本部第3会議室

出席者 17名

## I. 報告事項

### 1. 会合等の報告

菊池氏が、10月21日～25日にカールスルーエ研究所(ドイツ)で開かれた第29回 NEANDC会合について、前川氏が、11月11日と12日に IAEA で開かれた「IAEA Research Coordination Meeting on "Activation Cross Sections for the Generation of Long Lived Radionuclides of Importance in Fusion Reactor Technology"」と、11月18日～22日に IAEA で開かれた「IAEA Advisory Group Meeting on FENDL-2 and Associated Benchmark Calculations」について、中島氏が、10月3日、4日に原研東海研で行った「高エネルギー核データ専門家会議」について、中川氏が、11月28日と29日に原研東海研で行った「1991年核データ研究会」について、それぞれ報告した。

### 2. JENDL-3 データ修正WGについて

JENDL-3.2 作成のために次の2つのWGを核データ専門部会の中に発足させたことが報告された。

重核データ修正WG：菊池(原研、グループリーダー)、松延(住友原工)、川合(東芝)、神田(九大)、大澤(近畿大)、竹田(阪大)、高野、中島、長谷川、中川(原研)

ガンマ線生成データ修正WG：五十嵐(NEDAC、グループリーダー)、北沢、井頭(東工大)、浅見(NEDAC)、肥田(東芝)、水本(原研)

## II. 審議事項

### 1. 原子力学会合同特別会合のテーマについて

「1992年春の年会」での(核データ・炉物理)合同特別会合のテーマについて審議した。

### 2. 委員会人事

### 3. NEANDC FP 核データ専門家会議(1992年5月25日～27日、原研東海)のプログラムについて

### 4. ワーキンググループ活動(今年度のまとめと来年度計画)

評価用データベースWG、FP核データWG、核データ評価国際協力WG、Shielding 積分テストWGの活動について各グループリーダーより報告があった。